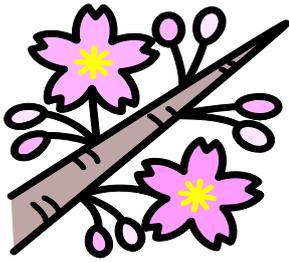


# 大谷教師塾



新支援センターだより「大谷教師塾」は本学ホームページにも掲載を予定しております。

## 「教育は教師なり」

センター長 水島 見一

「教育は教師なり」という言葉があります。本学初代学長の清沢満之先生の親友で、明治期の大谷派教団の教育顧問を経て東北帝国大学の初代総長となられた沢柳政太郎先生の言葉です。先生はそののち、成城大学を始めとする成城学園を創始された近代日本の代表的教育者でもあります。

沢柳先生は、常に「吾は人間をして人間たらしむるの任を負う者なり」と、教師としての仕事を明確に語っておられました。それは、大谷大学が「人間が大好き」という教育理念を掲げ、「人間学」を必修講座としてカリキュラムに位置づけていることに通じています。

今日の教育の課題として、たとえばのちを尊ぶことを見失った子どもたちが多く、また、人の立場にたつてものを考えることのできない身勝手な子どもが増えた、あるいは言葉が通じないとか、さまざまな指摘がされています。それは、端的に言いますと、これまでの教育が限界に達していることを現しているように思われます。教育が子どもたちの心を揺り動かさなくなったのではないのでしょうか。

たとえば、人権学習を行いますと、決まりきったように、「この世から差別をなくさなければならぬ」、「平等社会の実現のためにがんばりま



す」などと、子どもたちは言います。さらには「いのちは尊い」と真面目に言います。しかし、心の奥底に、どこなくしらじらしいものを感じている子どもたちも、実は大変多いのです。それは、教師と子どもたちとでやりとりされる言葉が、だんだんと子どもたちを上滑りして、奇麗ごとの教育になり、やがては「建前」という鎖で子どもの心を縛っているのでしょう。本音で人間同士が共感し合うことがなくなっているのです。これが今日の教育の病巣ではないでしょうか。

沢柳政太郎先生は、「人間をして人間たらしむる」ことが教師の仕事であると言われました。また、清沢満之先生は、「自己とは何ぞや」という問いを生涯持ち続けられました。そして、そのような先生方の元から多くの人間味溢れる教育者が育ったのです。それは先生方が、立派な「教育論」を持っていたからというよりも、その先生方からにじみ出る「人間」追求の志願が、学生の魂に響きわたり、心を揺り動かしたからだと思うのです。

「人間」追求の志願、これこそ大谷大学の「人間学」の精神です。そして、自分自身の中に必ずある、醜さや弱さを、真正面から確認する。そういう勇気のある人こそ、多くの人と響きあう場を持つことができるのだと思います。ここに大谷大学の願う教師像があります。そして、何よりも現代社会に必要とされる教師像があります。

## 目次：

教育は教師なり	1
「センターだより」リニューアル	1
京都市中学校社会科教員採用選考試験に合格して	2
学校ボランティアで得たもの	2
これからの予定	3
学校ボランティア募集	3
知っておきたい教育用語	4
教育名言コーナー	4
大谷教師塾「模擬試験」	4
新教職アドバイザー紹介	4

## ■ 教師になるための道案内役 ■

### 「センターだより」リニューアル

この4月から、このように「教職支援センターだより」を一新しました。写真や図版を効果的に取り入れ、より読みやすいものを目指そうと考えています。

センターだよりの名前もつけました。教員養成ナビゲーター「大谷教師塾」です。教師になるための道案内役として活用してもらいたいという願いを込めています。記事内容

教職アドバイザー 細谷 僚一

は、行事予定、学生の皆さんの感想文、教員のアドバイザー、採用試験情報、教育図書を紹介などです。

学生の皆さんとともに、できるだけ最新情報をタイムリーに取り上げていきたいと考えています。





報告に聞き入る講習会  
参加者 2009.12.2

- ・1年から  
学校ボランティア
- ・2年生から  
本格的な準備  
教師塾
- ・3年生で  
インターンシップ
- ・4年生で  
総合育成支援員

「教師になっ  
ても、日々自  
分を振り返り  
ながら、謙虚  
に学ぶ姿勢を  
忘れない！」

合格

## これからも子どもたちの笑顔のために日々精進

～ 京都市中学校社会科教員採用選考試験に合格して ～ 社会学科 卒業生 重久麻実子

私は、平成22年度京都市立学校教員採用選考試験において、中学校社会科で受験し合格することができました。170人中の12人に選ばれたことについて未だに実感がない私ですが、これだけは言えます。諦めなければ夢は叶うということ。そして、一人で合格できたのではないということ。合格率が低いにもかかわらず、就職活動もせずただ勉強をしているだけでいいのだろうか、本当に教師になれるのかなどと悩みました。そんな時、ある人に「夢は諦めたらそこで終わりです。追いかけていけばいつか叶います」と言われました。私はその言葉を信じて一つの目標に向かって走り始めました。悩むことがたくさんあったけれど、友達や先生、家族が支えてくれて現在の私があると思っています。

ではどのように勉強したのかということについて次に書きたいと思います。私の場合は、教職教養から勉強し始めました。時期は、2年生の夏くらいからです。教職教養については、地道に覚えていくしかないと思います。毎日少しずつ勉強をしてノートにまとめていくようにしました。教職教養は参考書から勉強したのですが、専門教養は過去問を解くところから始めました。それによって、自分なりに出題傾向をつかむことができ、参考書をがむしゃらに開くこともなかったです。専門教養についてもノートを作りまとめ

ていきました。一般教養も参考書を買って勉強しましたが、一般教養に対する勉強の比重は少なく、教職教養や専門教養を重点的に勉強しました。参考書は1日に1回、必ず見るという姿勢で、毎日の積み重ねが大切だと思います。私はおおまかな1日の計画を立てて毎日6時間程度、勉強に取り組みました。

筆記試験の対策ももちろん大切ですが、それ以上に現場での経験が合格に結びついたと思っています。私は、1年生の頃から学校ボランティアに行き始め、2年生、3年生と続け、4年生では総合育成支援員も経験しました。また、教師塾やインターンシップに参加したり、研究発表会にも何度も足を運んだりしました。この経験が、採用試験の面接や模擬授業に生き、また教師になる上での実践的な力がついたと思います。

「合格する」という一つの夢は叶いました。しかし合格はあくまでも通過点にすぎません。採用後、どのような教師になるかがより重要だと考えています。そのためには、日々自分を振り返りながら、謙虚に学ぶ姿勢を忘れず、自分を高めていく必要があると思います。今までの学びを糧にし、子どもたちの笑顔のために日々精進していきたいです。



## 学校ボランティアを通して得たもの

史学科 第4学年 山崎 美晴



- ★多くの生徒との交流
- ★親切な先生方
- ★貴重な経験



昨年の十一月から、京都市立西ノ京中学校で学生ボランティアとして学校図書館で書架の整理や新刊の登録手続きなどをお手伝いさせていただきました。週に一日だけという限られた時間の中で、多くの先生方や生徒達と関わりをもつことができた貴重な体験になりました。

今まで中学生と触れ合う機会は全く無かったため、初日はどのように接していいのかわからず緊張して身構えていました。一通り担当の先生から指導を受け、いざお昼休みになると、多くの生徒達が図書館に入室してくることに驚きました。自分が学生の時、図書館は常に閑散としている印象が強かったので、生徒達の熱心に読書する姿勢に感動しました。

毎週、ボランティアとして中学校へ行くうちに、多くの生徒達と話す機会が増えました。事典を広げ「先生これって何」という質問をする生徒や、

「先生ちょっと聞いて、昨日こんなことがあった」という話をする生徒、教科書を持ってきて「先生これ教えて」という生徒、無口だけど黙々とお手伝いしてくれる生徒など、さまざまな生徒がいます。どの生徒も人懐こくて、それまで消極的であった私に一歩踏み出すことの勇気を与えてくれました。それと同時に「教職に就きたい」という気持ちもより一層強いものになりました。

ボランティアとして来ているのに、多くの生徒たちと交流をもつことで、結果的に沢山のものを得ることができました。先生達も優しく接してくださり、とても良い雰囲気の中で初めての学校ボランティアを体験することができました。

最後になりましたが、ボランティアとして暖かく迎え入れてくださった京都市立西ノ京中学校の校長先生はじめ先生方に厚く御礼申し上げます。

## ■ これからの予定

### ● 京都府教員採用選考試験説明会

- ➡ 日時：2010年4月30日（金） 18:00～19:30
- ➡ 場所：5号館 5203教室
- ➡ 対象学年：教職を目指す全学年  
（京都府を受験する第4学年の学生は必ず出席してください。）

### ● 京都市教員採用選考試験説明会

- ➡ 日時：2010年5月7日（金） 16:20～17:50
- ➡ 場所：5号館 5203教室
- ➡ 対象学年：教職を目指す全学年  
（京都市を受験する第4学年の学生は必ず出席してください。）

### ● 滋賀県教員採用選考試験説明会

- ➡ 日時：2010年5月12日（水） 18:00～19:30
- ➡ 場所：5号館 5201教室
- ➡ 対象学年：教職を目指す全学年  
（滋賀県を受験する第4学年の学生は必ず出席してください。）

#### ※ いずれもスーツ着用のこと。

当日は、各教育委員会の方にお越しいただき、教員採用選考試験の傾向や近年の様子などを説明していただきます。第4学年だけでなく、第1学年から出席することをお勧めします。



初等科教育学習会の風景  
（教育・心理学科対象）



教職支援センター資料室

## ■ 学校ボランティア募集中！

教職志望者は何をすればよいか。よく質問をうけます。大きく2つあるように思います。

一つ目は、当然のことですが大学での授業をしっかりと受けることです。そしてその授業で学んだことを自分なりに広げ深めることです。教職に就くための土台は、人が学び成長することについて幅広い教養と深い見識です。

二つ目は、学校現場での経験を積むことです。教育実習やインターンシップ以外に可能な限り「学校ボランティア」として継続的に入り込み、子どもたちのために何をすればよいかなど、具体的な教育活動から学ぶことです。

現場が大事といっても単にハウツーや対処法を知るために取り組むものではありません。大切なことは大学で学んだことと現場での経験をつなげることによって、教員になるための資質を高め中身のある実践力を身につけることです。

最近、各教育委員会や各学校が様々な支援員や学校ボランティアを募集するようになってきました。本学在籍の学生も現在70名ほどが学校ボランティアとして活躍しています。

### 【学校ボランティア希望者】

学校ボランティアをしようと思う人は、まず教職支援センターで登録をしてください。そして各委員会広報、各学校ホームページ、本学教職支援センター、4号館の学校ボランティア掲示板などで、学校ボランティア募集の情報収集に努めてください。（京都市教育委員会はホームページにて、学校ボランティア募集の一覧が掲載されています。）地理的条件や空き時間など考え、応募する学校を決めてください。



在学中、やらなければいけないことがたくさんあると思いますが、教職志望者にとって学校ボランティアは必修科目に準ずるものだと考えてください。積極的な姿勢が道を切り開きます。

### 教職支援センター活用法

#### ◆ 相談内容は

- 教員としての適性や資質
- 教員としての心構え
- 生徒との接し方
- 教育実習
- 教員採用状況
- 採用試験対策
- ◆ インターンシップ
- ◆ 学校ボランティア

など

#### ◆ 相談時間は

- 月～金
- 12:00～13:00  
（昼休み）
- 14:00～17:00



センター入り口

■ 知っておきたい教育用語 「クロス・カリキュラム」

既存の教科や領域の枠組みをそのままにして、教科や領域をまたいで内容を設定し、より教育効果を上げようとするものである。

たとえば、国語科での古典文学の学習と社会科の歴史学習をつなげて深めたり、楽器「オカリナ」を美術科と音楽科で協力して制作し、演奏会を実施したりするなどがあげられる。

特に教科担任制である中学校や高等学校においては、生徒に教科間の学習を関連づけるためには全教科を見渡して教材の選択や配列を工夫することが大切である。

横断的、総合的な学習という観点でいえば、「総合的な学習の時間」ときわめて近い学習方法である。しかし「総合的な学習の時間」が、環境や人権など従来の教科では扱いにくい学習課題を教科の枠を超えて追究することであるが、クロス・カリキュラムは、各教科のもつ教育内容を逸脱することなく、学習のより確かな定着を図ろうとする点で異なるものである。(細谷)



■ 新教職アドバイザー紹介  
大谷大学に「ご縁」をいただいて  
～「教職に就きたい！」との思いを現実に…  
“Never Give Up!”で初志貫徹！～

西寺 正

私は、このたび、教職アドバイザーとして貢献された長谷川浩三先生の後任として着任した西寺です。「教職に就きたい！」との諸君の願いを実現するよう教職員のスタッフの皆様とともに精一杯努めます。また「英語教科法Ⅰ・Ⅱ」も担当します。

大谷大学にご縁をいただき大変喜んでます。次代を担う多くの諸君と「教職に就く」という喜びを分かち合いたいものです。

しかし、私は還暦を迎えたとはいえ、大学という夢の舞台の新人です。どうぞよろしくお願ひします。

もう一つ私の喜びは、大谷大学が親鸞聖人の願いを建学の拠り所として、人生は、困難の連続ですが、「教職に就く」ことの学習や試練の中には大きな喜びが潜んでいます。困難に出会えばチャンスと思つて親鸞聖人に改めて学びつつ、励みたいものです。

大谷教師塾「模擬試験」

問題1 次の文は、2006年に改定された教育基本法の条文、第9条である。問(1)、(2)に答えなさい。

法律に定める学校の教員は、自己の崇高な(①)を深く自覚し、絶えず(②)と(③)に励み、その(④)の遂行に努めなければ

問(1) (①)に当てはまる語句を答えなさい。

( )

問(2) (②)～(④)に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものをア～エから選び、記号で答えなさい。

	②	③	④
ア	研究	修養	職責
イ	研修	職務	職務
ウ	研修	教養	目標
エ	養成	修養	目標

( )

■ 教育名言コーナー ■

教師の資格

勉強するその苦しみと喜びのただ中に生きているのが子どもたちなのです。

研究している教師はその子どもたちと同じ世界にいます。研究せず、子どもと同じ世界にいない教師は、まず「先生」としては失格だと思ひます。

「教えるということ」

大村はま 共文社

大村はま(1902-2005)は国語教育の実践家。52年間の教師生活の中はもちろん、98歳で生涯を閉じるまで、旺盛な執筆や講演活動を続けた。教育道を究めるその求道的な姿勢は、教師や教師をめざす多くの人々に、これからも絶大な影響を与え続けるだろう。(細谷)

問題2 1977年(昭和52年)に公布された学習指導要領の趣旨として正しいものには○印、間違っているものには×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものをア～エから選び、記号で答えなさい。

- ① 人間性を高めるといふ観点から、知・徳・体の調和が図られた。
- ② ゆとりある充実した学校生活の実現のために授業時間が削減された。
- ③ 小学校の低学年において、社会・理科を統合した「生活科」を新設した。
- ④ 科学技術の発展に対応するため、理科・数学を中心に教育課程の現代化を図った。
- ⑤ 道徳教育の強化のために「道徳」の時間を新設した。

	①	②	③	④	⑤
ア	○	×	×	×	○
イ	×	○	×	○	×
ウ	×	×	○	×	○
エ	○	○	×	×	×
オ	○	×	○	×	×

( )

\* 出題 田口貴大(文学科卒業生)  
牛尾 諒(科目等履修生)

正解は「教職支援センター」の掲示板にあります。